

特別回報

外航組合員各位

2024 保険年度の国際 P&I グループ再保険プログラムについて

2024 保険年度の国際 P&I グループ (IG) 再保険プログラムが決定しましたのでご案内申し上げます。

1. 再保険スキーム

2024 保険年度の IG 再保険プログラムのスキームは以下のとおりです (2023 保険年度から変更はありません)。

- クラブ保有額 : 1 千万米ドル
- グループ保有額 : 1 億米ドル
- General Excess Loss (GXL) Cover : 20 億米ドル (1 億米ドルを超える 20 億米ドル部分)
- Collective Overspill Cover : 10 億米ドル (21 億米ドルを超える 10 億米ドル部分)

2. てん補限度額

以下の損害に対する 2024 保険年度のてん補限度額は以下のとおりです (2023 保険年度から変更はありません)。

- 油濁損害 : 10 億米ドル
- 船客の単体損害 : 20 億米ドル
- 船客と船員との複合損害 : 30 億米ドル

3. 悪意のあるサイバー攻撃、新型コロナウイルス、その他の感染症に起因する損害

2023 年度の再保険プログラムでは、悪意のあるサイバー攻撃、新型コロナウイルスおよびその他の感染症に関して、7.5 億米ドルを超える部分について、これらの損害全体で合計 13.5 億米ドル (再保険での年間累積回収限度額) のてん補上限額が設けられておりましたが、2024 保険年度においては、悪意のあるサイバー攻撃リスクは、新型コロナウイルス/感染症リスクとは切り離され、それぞれ 13.5 億米ドル (再保険での年間の累積回収限度額) のてん補上限額が設定されることとなりました。

- Layer 1 (1 億米ドルを超える 6.5 億米ドル部分) : てん補制限なし
- Layer 2 および 3 (7.5 億米ドルを超える 13.5 億米ドル部分) : 悪意のあるサイバー攻撃リスクと新型コロナウイルス/感染症リスクに関し、それぞれ合計 13.5 億米ドルの累積回収限度額を設定

IG では、年間の累積回収限度額を超える損害について、IG のプール機構でカバーすることに合意しました。したがって、組合員の皆さまへ提供されるカバー自体に変更はありません。

スキームの詳細については、添付の表をご参照ください。

4. Excess War 再保険

ロシア・ウクライナ戦争が続いている現状に鑑み、IG の Excess War 再保険者は、ロシア・ウクライナ周辺の海域を航行する船舶に関する地域的な除外（除外地域は、再保険者が戦争 P&I 保険に既に適用しているものと同じ）を維持しました。そのため IG は、ロシア/ウクライナ/ベラルーシの除外リスクについて、再保険マーケットから総額 8,000 万米ドルを上限とするカバーを購入しました。

5. 船種別 IG 再保険料率

IG では、現在の 5 つの船種カテゴリーを変更せず、再保険における過去のクレーム実績を踏まえて再保険料率を調整することといたしました。

2024 保険年度の船種別 IG 再保険料率は以下のとおりとなります。

船種カテゴリー	2024 保険年度 再保険料率 (US\$/GT)	対前年比増減 (US\$/GT)	対前年比増減率 (%)
Persistent Oil Tankers	0.6163	-0.0500	-7.5
Clean Tankers	0.3982	-0.0069	-1.7
Dry Cargo Vessels	0.5863	-0.0128	-2.1
Fully Cellular Containerships	0.7204	-0.0073	-1.0
Passenger Vessels	3.3842	-0.4835	-12.5

※Excess War 再保険および MLC 再保険に対する再保険料を含みます。

6. 更改経緯

プールクレームの状況が比較的穏やかだった 2022 保険年度に続き、2023 保険年度も順調なスタートを切りました。それ以前の保険年度のプールクレームが若干悪化したものの、IG の再保険者に対する全体的な影響は大きくなく、ハリケーンの影響によるノンマリン分野での損害も含め前年ほどではありませんでした。結果として、2024 保険年度の再保険プログラムは、すべての船種において再保険料率を引き下げることができました。

バミューダを拠点とする IG の自家保険会社である Hydra が、引き続きリスクを保有することで IG を支えており、Private Placement（複数年契約定額再保険）の活用も、組合員の皆さまにご負担いただく再保険料の変動を軽減しております。

詳細につきましては、IG による[プレスリリース](#)をご覧ください。

以上

添付：2024 保険年度 IG 再保険プログラム

IG再保険プログラム (2024保険年度)

Pool (Overspill) (約57億米ドル)		約88億米ドル	4	
Collective Overspill Layer (10億米ドル) Excess of underlying		31億米ドル		
3rd Layer **** (6億米ドル) Excess of underlying		<船客+船員クレーム> 30億米ドル		
		<船客クレーム> 21億米ドル		
2nd Layer **** (7.5億米ドル) Excess of underlying		15億米ドル	3	
1st Layer (6.5億米ドル) 75% share with annual aggregate deductible of \$107.1m being covered by Hydra		<油濁クレーム> 2nd Layer **** (2.5億米ドル) Excess of underlying 10億米ドル		
		1st Layer (6.5億米ドル) 75% share with annual aggregate deductible of \$107.1m being covered by Hydra 7.5億米ドル		
*** 10% share	** 10% share	* 5% share	1億米ドル	2
Upper Pool (5千万米ドル-1億米ドル covered Hydra)		7.5% クレーム提起 クラブ保有		
Lower Pool (3千万米ドル-5千万米ドル covered Hydra)			5千万米ドル	
Lower Pool (1千万米ドル-3千万米ドル)			3千万米ドル	
クラブ保有			1千万米ドル	
			0	1

- 1千万米ドルまで
クラブ保有額と称し、各クラブの自己負担。
- 1千万米ドルから1億米ドルまで
プールと称し、IG加盟クラブが各々の分担率に基づき分担。
なお、プール部分のうち3千万米ドルから1億米ドルまではHydraへ出再。
- 1億米ドルから21億米ドルまで
Lloyd'sを中心とする再保険マーケットで再保険を購入。
(* **および***は、Private Placementと呼ばれる複数年契約定期額再保険)
1st Layerから3rd Layerにかかわり、各Layerごとに参加している再保険責任が異なる。
1st Layer: 1億米ドルから7.5億米ドルまで。
2nd Layer: 7.5億米ドルから15億米ドルまで。
3rd Layer: 15億米ドルから21億米ドルまで。
なお、1st Layerのうち、75%はマーケット再保険者に出再、同再保険カバーには1.071億米ドルの免責金額が設定されている。同免責額まではHydraがカバーする。

*** 悪意のあるサイバー攻撃に起因する損害と新型コロナウイルス感染症/その他の感染症に起因する損害については、それぞれ合計13.5億米ドルの年間累積回収限度額が設定されている。
2nd Layer: 年間累積回収限度額:7.5億米ドル (油濁クレームは1事故あたり最大2.5億米ドル)
3rd Layer: 年間累積回収限度額:6億米ドル
- 21億米ドルから約88億米ドルまで
オーバーシビルと称し、IG全クラブメンバーで分担し、その資金は各クラブがメンバーに請求する分担金(オーバーシビル保険料)により賄う。
なお、オーバーシビルのうち、21億米ドルから31億米ドルの部分についてはマーケットで再保険を購入しており、この部分については同再保険で賄われる。

なお、油濁損害については10億米ドル、船客にかかわる責任は20億米ドル、船客と船員にかかわる責任は30億米ドルの上限が設定されている。